

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、令和5年4月18日に小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に文部科学省によって実施されました。

本調査の結果は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示しているものです。香芝市では、この調査結果から子どもたちの学力や学習状況の具体的な現状を把握・分析し、今後の学校における教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てていくことが重要であると考えます。本市の調査結果の概要は以下のとおりです。

## 1. 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)
- (2) 調査対象 市内 10小学校 第6学年 (受検者数811名)  
市内 4中学校 第3学年 (受検者数740名)
- (3) 調査内容 ①教科に関する調査(小学校:国語科・算数科/中学校:国語科・数学科・英語科)  
②質問紙調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)  
PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式で実施  
※調査問題や質問紙の詳細については、国立教育政策研究所のHPをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/index.html>

## 2. 教科に関する調査結果の概要

※平成29年度から、国から提供される各都道府県別、各市町村別の平均正答率が整数値となったため、奈良県と香芝市の平均正答率は整数値で示しています。

### (1) 小学校

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	9.3/14	9.0/14	9.4/14
	66%	65%	67.2%
算数科	9.8/16	9.9/16	10.0/16
	61%	62%	62.5%

( 上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率 )

## (2) 中学校

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	10.6/15	10.0/15	10.5/15
	71%	67%	69.8%
数学科	8.1/15	7.4/15	7.6/15
	54%	50%	51.0%
英語	8.3/17	7.6/17	7.7/17
	49%	45%	45.6%
英語(話すこと)	0.5/5	—	0.6/5
	10%	—	12.4%

( 上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率 )

※英語の「話すこと」調査について、奈良県の結果は公表されません。

### 【国語科における状況】

- ・「話すこと・聞くこと」については、記述式の問題に課題がある。
- ・「書くこと」については、各校の取組において、授業等の中で「書く」機会を多く確保してきているが、小学校・中学校ともに、無解答率は記述式に高い傾向がある。
- ・小学校では「言葉の特徴や使い方に関する事項」における漢字の書き取りや敬語の理解、中学校では「我が国の言語文化に関する事項」における古典の語句理解に課題がある。

### 【算数・数学科における状況】

- ・小学校では、「図形」領域において、図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題がある。また、目的の図形を作成するために、どのような操作をすればいいのか、見通しをもって活動することに課題がある。
- ・中学校では、「関数」「データの活用」領域において、記述式の「数学的に解釈し、数学的な表現を用いて説明する」問題で無解答率が高いことに課題がある。
- ・小学校・中学校ともに、答えを導き出した過程や事柄が成り立つ理由を論理的に筋道立てて説明する力に課題がある。

### 【英語における状況】

- ・中学校では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3領域において、自分の考えとその理由をまとまりのある文章で書くことに課題がある。
- ・「話すこと」領域では、無解答率が高くなっている。英語の基本的な表現を理解するとともに、その知識をやりとりや発表の場面において活用できる技能を身に付けることに課題がある。

### 3. 質問紙調査結果の概要

#### (1) 小学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	55.7%	58.7%	61.5%
算数の勉強は好きか	54.5%	58.1%	61.4%
家で計画を立てて勉強しているか	71.0%	66.0%	70.7%
自分には、よいところがあると思う	82.5%	83.0%	83.5%
いじめはどんな理由があってもいけないと思う	97.3%	97.1%	96.9%

#### (2) 中学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	59.2%	55.5%	61.4%
数学の勉強は好きか	53.2%	54.1%	56.7%
英語の勉強は好きか	46.5%	47.8%	51.9%
家で計画を立てて勉強しているか	56.5%	52.8%	55.0%
自分には、よいところがあると思う	76.5%	77.9%	80.0%
いじめはどんな理由があってもいけないと思う	97.1%	95.1%	95.5%

#### 【小学校第6学年、中学校第3学年の状況】

- ・「家で計画を立てて勉強しているか」という質問に「よくしている・ときどきしている」と肯定的に回答した割合が高い傾向にある。
- ・規範意識について、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」という質問に「当てはまる・どちらかといえど当てはまる」と肯定的に回答した割合が高い傾向にある。

各学校では自校の課題を分析するとともに、昨年度の取組の検証を行っております。調査対象の学年だけでなく、学校全体の学力向上に取り組んで参ります。

教育委員会では、本調査結果や分析を踏まえ、授業改善や学習内容の理解・定着状況の確認、ICTの効果的な活用、学習習慣の確立が校長のリーダーシップのもと進むよう支援するとともに、教職員の授業力向上に努めて参ります。